

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
 ご利用いただきたくご案内いたします。  
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を  
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ  
 どよろしくお願い申し上げます。

敬白

### 記

■ 実施日 2018年4月2日(月) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
2937 4	ADAMTS13-活性 2B495-0000-022-023	<span style="background-color: red; color: white; font-size: small;">速やかに遠心</span> 血漿 0.3	PC2 (K) ↓ A00 (X)	凍結 (28日)	2~5	400 ※2	ELISA	0.10未満 (IU/mL) 10未満 (%)	基準値は血栓性血小 板減少性紫斑病 (TTP)の判定基準 です。
2981 8	ADAMTS13 インヒビター 2B496-0000-022-023	<span style="background-color: red; color: white; font-size: small;">速やかに遠心</span> 血漿 0.6				600 ※2		0.5 以上 (BU/mL) 陽性	基準値は後天性血栓 性血小板減少性紫斑 病(TTP)の判定基 準です。

※2：血液学的検査判断料

今回の受託開始に伴い、下記従来項目の受託を中止させていただきます。

項目コード	検査項目	受託中止日
M510 1	ADAMTS-13 (活性)	2018年 3月 30日 (金) ご依頼分をもって受託中止

● ADAMTS13-活性

● ADAMTS13インヒビター

血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）の診断補助に有用です。

ADAMTS13はvon Willbrand因子（VWF）の特異的切断酵素であり、ADAMTS13活性の著減によりVWFとの均衡が破綻すると、血小板血栓による微小循環障害を生じ、血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）を発症します。TTPは血小板減少、溶血性貧血、動揺性精神神経症状、腎機能障害、発熱を特徴とする致死的血小板血栓症で、無治療では90%以上の症例が早期に死亡するとされています。

ADAMTS13活性が著減する原因としては、ADAMTS13遺伝子異常による「先天性TTP」とADAMTS13インヒビター（中和抗体）による「後天性TTP」が知られています。

後天性TTPは膠原病、妊娠、感染症、薬剤などにより発症し、ADAMTS13インヒビター（中和抗体）の存在によりADAMTS13活性が低下することでTTPの症状を呈します。

ADAMTS13活性はTTPの診断補助に、ADAMTS13インヒビターは後天性TTPの診断補助に用います。

▼ 疾患との関連

血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）  
溶血性尿毒症症候群（HUS）  
血栓性微小血管症（TMA）

▼ 関連する主な検査項目

フォン・ウィルブランド因子マルチマー解析  
FDP定量（血漿）

▼ 検査要項

検査項目名	ADAMTS13-活性	ADAMTS13インヒビター
項目コードNo.	2937 4	2981 8
検体量	血漿 0.3 mL	血漿 0.6 mL
容器	PC2 (K) →A00 (X) ポリスピッツ	
保存方法	必ず凍結保存してください	
所要日数	2~5 日	
検査方法	ELISA	
基準値	0.10 未満 (IU/mL) 10 未満 (%)	0.5 以上 (BU/mL) 陽性
検査実施料	400点 （「D006」血液学的検査「34」）	600点 （「D006」血液学的検査「35」）
判断料	125点（血液学的検査）	
備考	基準値は血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）の判定基準です。	基準値は後天性血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）の判定基準です。

●参考文献

伊藤 晋, 他：日本輸血細胞治療学会誌 56 (1) : 27~35, 2010. (検査方法参考文献)  
松本 雅則：臨床血液 58 (10) : 2081~2086, 2017. (臨床的意義参考文献)